

みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム

みちのく DEMODOY

大学発スタートアップを目指す研究者によるピッチイベント

-Down the road less traveled,
opportunities are knocking-

2023.2.17 [FRI] 13:30-17:00

会場 仙台国際センター

Sendai International Center
仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」徒歩1分

会場参加
300名

or

オンライン
参加



●プログラム

内容が一部変更になる場合がございます。

- 13:30-13:35 開会挨拶
- 13:35-13:45 来賓挨拶
- 13:45-14:45 基調講演
- 14:45-15:00 みちのくアカデミア発スタートアップ
共創プラットフォームの取組みについて
- 15:00-16:48 みちのくGAPファンド採択者ピッチ
- 16:48-16:57 全体講評
- 16:57-17:00 閉会挨拶

●参加申込方法

会場参加またはオンライン (Zoom) でご参加いただけます

- 参加するためには、事前申込が必要となります。
- 下記URLまたはQRからお申し込みください。

<https://e-ve.event-form.jp/event/43680/demoday>



主催

みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム

本プラットフォームは、東北大学を主幹機関、弘前大学、岩手大学、秋田大学、山形大学、福島大学、新潟大学、長岡技術科学大学、宮城大学、会津大学、東北大学ナレッジキャストを共同機関として実施しております

お問い合わせ

みちのくGAPファンド運営事務局 (東北大学ナレッジキャスト(株)内)

michinoku.gap.fund@tohoku-kc.co.jp



みちのく DEMODAY

2023.2.17 [FRI]

大学発スタートアップを目指す研究者によるピッチイベント

●プログラム

13:30-17:00

※13:00から開会までの時間は紹介ムービーを上映しています。
※内容が一部変更になる場合がございます。

会場 / 仙台国際センター

- 13:30-13:35 ●開会挨拶
大野 英男
(東北大学総長)
- 13:35-13:40 ●来賓挨拶
井上 睦子氏
(文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課長)
- 13:40-13:45 ●来賓挨拶
千葉 隆政氏
(宮城県経済商工観光部長)
- 13:45-14:45 ●基調講演
落合 陽一氏
(筑波大学デジタルネイチャー開発研究センター長)
○テーマ
「大学の知の社会実装」 オンライン登壇
- 14:45-15:00 ●みちのくアカデミア発スタートアップ
共創プラットフォームの取組みについて
植田 拓郎
(東北大学産学連携機構長 / 理事)
- 15:00-16:48 ●みちのくGAPファンド採択者ピッチ
- 16:48-16:51 ●全体講評
阿部 博氏
(有限責任あずさ監査法人 / 常務執行理事 企業成長支援本部
インキュベーション部長 / パートナー)
(KPMGジャパン / プライベートエンタープライズセクター
スタートアップ統轄パートナー)
- 16:51-16:54 ●全体講評
宮本 幹氏
(独立行政法人中小企業基盤整備機構 / 東北本部長)
- 16:54-16:57 ●全体講評
東北経済産業局
- 16:57-17:00 ●閉会挨拶
長坂 徹也
(東北大学副学長)

みちのくGAPファンド採択者ピッチ (詳細)

有本 博一 (東北大学)

AUTAC 技術を基盤とするオートファジー創薬の事業化検証

吉田 暁弘 (弘前大学)

プラスチック混合廃棄物に適用可能なケミカルリサイクル技術の開発

山下 哲郎 (岩手大学)

網膜疾患治療薬開発に向けた基盤技術の強化と事業化体制の構築

渡辺 昌規 (山形大学)

米由来非可食部の利活用を促進する機能性成分高濃度化技術の事業化

笠井 博則 (福島大学)

簡易な機構を用いた放射線源の推定システムの構築

休憩

中馬 吉郎 (新潟大学)

細胞内を標的可能な新規創薬プラットフォームの開発

牧 慎也 (長岡技術科学大学)

革新的ジャガイモ種芋・種苗生産技術開発・販売

森本 素子 (宮城大学)

イヌ・ネコ用皮膚製剤の開発に資するイヌ・ネコ無限分裂線維芽細胞セットの開発

趙 強福 (会津大学)

高齢者を見守るための小型センサユニットの商品化

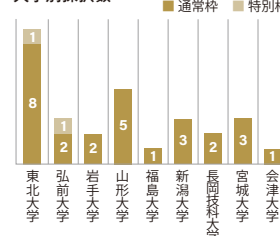
みちのくGAPファンド

東北・新潟の本プラットフォーム参画大学の研究成果の事業化を支援するGAPファンド「みちのくGAPファンド」の公募を行い、2022年度は研究開発課題29件を採択しました。本GAPファンドに採択された研究代表者は、技術シーズを基にした起業やJSTの「大学発新産業創出プログラム (START)」の申請に向けて、実施期間において事業性検証や研究開発に取り組めます。

また、起業に向けた準備の一環としてセミナーやワークショップ、事業性検証・ピッチ指導などの壁打ちメンタリング、技術移転機関やベンチャーキャピタルによる個別相談会など、充実した伴走支援を行っています。

みちのくGAPファンド採択状況 (2022年度)

大学別採択数



分野別採択数

